

近年、県庁・市町村の各庁舎でも無線LAN整備が急速に拡大しており、必要不可欠なネットワークインフラとなっています。総務省の提言でも無線LAN利用が見直され、正しいセキュリティ対策を行って利用することが求められています。

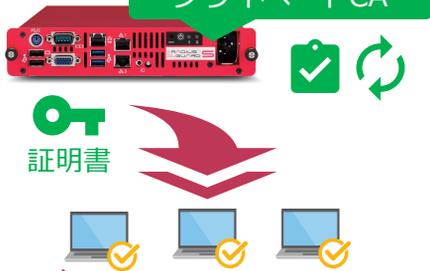


特に個人情報などの取扱が想定される公共ネットワークではセキュリティ対策の実施は欠かせません。無線LAN導入と認証基盤は切り離せません

RADIUS GUARD Sは自治体・公共のさまざまな場面で無線LANの導入と合わせてセキュリティ強化のために導入いただいています

CASE1 某県庁

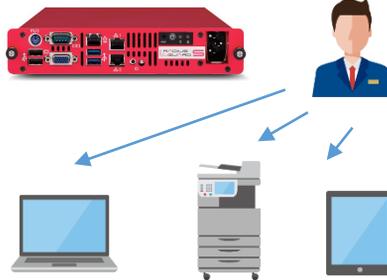
プライベートCA



GOOD!!

無線LAN整備にあたりTLS認証によるデバイス制御を実施。個人端末や持ち込み端末の排除と同時に、自動削除機能などを活用し、証明書管理の日々の管理業務負担を軽減。

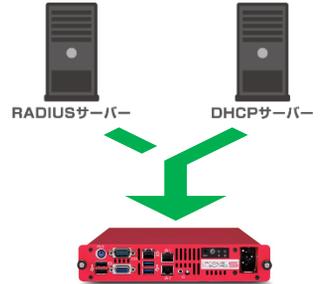
CASE2 某新市庁舎



GOOD!!

接続デバイスやネットワーク環境に合わせた様々な認証方式に対応。802.1x認証からMAC認証まで1台で対応。スマートデバイスの活用によるアカウント増加にも柔軟に拡張可能。

CASE3 某市役所



GOOD!!

無線LANの導入展開に必要な不可欠なDHCPサーバーと、セキュリティ対策のための認証サーバーを1台のアプライアンスで実現。導入コスト、ランニングコストを抑え予算内でセキュリティ強化まで実現。

不正接続・利用を防止する『認証』は無線LANに必須です!!

『認証』がない環境

- NG1 共通パスワード環境
- NG2 不適切なID管理
- NG3 持ち込み端末による接続

不正接続の可能性
大

- 情報漏洩
 - 不正利用
 - ウイルス感染
- などのリスクが高い

RADIUS GUARD S
が解決します!



無線/有線
認証



証明書発行



VPN接続



無線LANの構築と同時に認証基盤を導入し、不正利用対策を含めたセキュアな無線LAN環境をトータルに提供します!

